

新発田病院附属看護専門学校の学校説明会にご参加いただき、ありがとうございました。



皆様から頂いた質問について、在校生がお答えしました。

Q1 看護師になるために、入学前にやっておいたほうが良いことや習慣はありますか？

- A * 正しい手洗い、うがい、手指消毒などの方法を学習しておくとういと思います。
* 生物で人体の部分の復習しておく、入学後の解剖生理学の勉強が分かりやすくなります。（解剖生理が理解できていないと、その後続く病態学の理解が遅れてしまうため、解剖生理は大切！）

Q2 入学するために、どのような受験勉強を行いましたか？ 文系からでも大丈夫ですか？

- A * 看護学校受験用の問題集が書店で売られているので、活用しました。
* マークシート慣れしていると記述試験に対応できないため、書く練習もしました。
* 文系から入学してくる人もたくさんいるので大丈夫！

Q3 高校生活との違いには、どんなことがありますか？（講義以外のことでも）

- A * グループワークが多いのでクラス全体と関わります。
* 講義のない時間があつたりするので、その時間を活用して外食に出かけたりします。



Q4 看護実習や演習の中で楽しいことはなんですか？

- A * 演習では看護の視点から学ぶことが多く、知識が増えていく感覚が楽しいです。
* 実習では患者さんのことを考えて援助計画をたて、実際に援助を行ったときに患者さんから喜んでいただけると、うれしくなります。

Q5 看護実習のなかで一番大変なことは何ですか？

- A * 実習では患者さんの個別性を考えて援助を行うため、患者さんの生活史や病態、現在の状態を知る必要があります。その際に、情報の聞き方や、得た情報から、どのような看護が必要なのかを考えることが大変です。でも、その大変なことが患者さんの「ありがとう」の一言で「やりがい」に変わります。

Q6 部活やサークルは何かありますか？

- A * オレンジサークル（認知症について）、ボランティアサークルがあります。

Q7 この学校を選んだ理由や、他校より良い点はどのようなところですか？

- A * 病院と併設されているため、実際の臨床の雰囲気を感じることができます。
* 学費が安いところ
* 感染対策がしっかりしているため、安心できます。
* わからないところは、先生が優しく対応してくれます。
* 奨学金のことなども事務の方が細かく気配りをしてくれるため安心です。

Q8 入学前と入学後で、学校のイメージに変化はありましたか？

A *はじめから看護の知識を学ぶと思っていたけれど、基本となる生物や物理、英語といった内容から始まるため、高校の応用を学ぶことで、学習のイメージに変化がありました。

Q9 各学年に1クラスとなっていますが、どのような感じで学生生活を送っていますか？

A *適度な距離感で助け合ったり、切磋琢磨しあっています。
*各学年1クラスのみなので、必然的に仲間意識が芽生えます。
*たのしいです。

Q10 電車通学で大変なところや気をつけるところはありますか？

A *実習のときは公共交通機関が遅延していても、公欠にはならず欠席扱いとなるため注意が必要です。
(実習中はホテルに泊まる先輩もいます)
*授業開始は8:50からのため、遠方から通学する場合は、朝が早く大変です。

Q11 忙しい時の息抜きの方法はありますか？

A *週末に楽しみな予定を作っておき、そこを目指して頑張ります。
*寝ることです。



Q12 学生寮はありますか？

A *申し訳ありませんが、学生寮はありませんので近隣のアパート等を各学生で探してもらっています。

Q13 奨学金は返せますか？

A *利用する制度にもよりますが、指定された医療機関に就業することで返済が免除になるものもあります。

Q14 地域・在宅看護論では、具体的にどのようなことが学べますか？

A *地域(自宅や施設など)で生活しながら療養している患者や家族を支える保健・医療・福祉や社会資源について学びます。

Q15 注射や採血が苦手なのですが、克服できますか？

A *実際に臨床で働いていく中で、自然と克服できていくと思います。

Q12～15 に関しては、学校側で回答させていただきました。